

魚津市地域振興会連合会第1回定例会 会議録

日 時 令和8年7月3日（金）18時00分～19時50分

場 所 魚津市役所3階第5・6会議室

出席者 地域振興会連合会 野村博会長（経田）

大野聡一副会長（大町）、亀澤俊幸副会長（村木）、
高倉満広監事（天神）、谷口慧監事（西布施）、
高島勝（下中島）、二川正博（上中島）、木下正博（松倉）、
馬場均（上野方）、三谷敏博（本江）、平野泰正（片貝）、
長谷川道隆（加積）、本元義明（道下）

事務局 市民自治推進課 広田課長、高嶋係長

各課依頼事項説明者 社会福祉課 関口課長代理

都市計画課 近堂課長代理

1 あいさつ

（会長）

- ・7月となり本格的に暑くなってきたので、お身体気を付けてください。

2 各課からの依頼事項について

① 災害時における個別避難計画の策定について（社会福祉課）

（①説明概要）

- ・個別避難計画の対象者に案内送付予定。希望者される方から登録申請書が提出されましたら、各地区にて支援者を探していただきたい。
- ・すでに策定済みの計画について、入所等を反映した名簿を本日お渡しするので、地区の個別避難計画の名簿から削除をお願いしたい。
- ・モデル地区として、●●地区の取組を本日ご紹介したい。●●会長、お願いします。

【質問・意見】

（●●会長）

- ・昨年度、すでに策定済みの個別避難計画について、改めて全ての対象者等に案内した。その際には、計画の重要性等を記載したチラシ等も同封し確認等を促した。今年度も同様の取組をしていきたい。

② 富山地方鉄道等地域公共交通に関するアンケート結果について（都市計画課）

（②説明概要）

- ・アンケートのお礼と報告をさせていただく。今後も、経過を報告していきたい。

【質問・意見なし】

3 会議録の承認について

令和8年5月12日に開催した令和8年度総会の会議録について確認し、承認を得た。

4 協議事項

1) 視察研修について

(事務局から資料1に基づき説明)

- ・研修先について、候補案1（糸魚川市根知地区・上越市安塚区）と、候補案2（滋賀県東近江市）をお示し、挙手にて9：4で、候補案1で承認された。
- ・今後、研修の受入打診をした上で、行程等の詳細について事務局で詰めていくこととした。

【質問・意見なし】

2) 県知事要望について

(事務局から資料2に基づき説明)

- ・県知事要望までの流れを説明。直近8/28開催予定の新川ブロック会議（2市2町）への取りまとめに向けて、魚津市地域振興会連合会としての要望事項（案）について説明した。
- ・昨年度の要望5項目をベースに魚津市重点要望を参考に時点修正を行い、1項目は実現の可能性が低い内容のため削除、新たに2項目追加し、6項目をベースに提出したい。
- ・定例会後に各地域に追加・修正の要望事項がないかどうか照会をかける予定。

【質問・意見】

(地域振興会長)

- ・有害鳥獣対策について、サルの被害も深刻なので、要望に追加してほしい。

(事務局)

- ・要望に追加する方向で、要望の文言については担当課である農林水産課と詰めた上で、各地域に確認いただく形としたい。

3) コミュニティセンターの指定管理者制度導入について

(事務局から資料3に基づき説明)

- ・令和9年4月から新たに指定管理に移行予定の地域が6地区（うち2地区は7月中旬に正式な導入意向を市へ回答いただく予定）であり、●●地区については、新たなコミュニティセンターの供用開始後、令和10年4月から導入する予定であることを確認。
- ・指定管理移行に伴う職員の労務管理や退職金制度について、課題の整理と、市民自治推進課としての今後の対応（案）について、説明した。
- ・指定管理料の積算方法や、コミュニティセンター体育館等の使用料減免についても、地区からのご意見を踏まえた今後の対応（案）について、説明を行う。
- ・令和9年4月の指定管理新規導入及び更新に向け、スケジュール感を共有した。

【質問・意見】

(地域振興会長)

- ・●●地区では、今年から中小企業退職金制度に加入したいと考えている。退職金について、会計年度任用職員と地域雇用で同じ待遇となるよう、財政当局等に強く求めている。
- ・各館それぞれで、2～3人の地域振興事務員の労務管理をしており、事務負担が増えるの

ではないか。13 地区全てが指定管理者制度に移行された後、魚津市地域振興会連合会が一括して指定管理を受け、連合会の雇用の職員となれば、まとめて効率的に事務処理ができるのではないか。

(地域振興会長)

- ・当館は、社労士に頼むより事務員で事務処理をした方が早いということで、自分たちでしている。

(地域振興会長)

- ・事務員が 20～30 人いる会社なら社労士に依頼するのもわかるが、各館 2～3 人しかいない。連合会が一括して指定管理を受けることは、指定管理の意味がない。自分たちの地域を自分たちで、という思いがある。

(会長)

- ・良い方向にいくように、みなさんと話しながら進めていきたい。

(地域振興会長)

- ・労務管理や税金等、全体とおして相談できる場所があればよい。しっかりサポートしていただきたい。

(会長)

- ・不安を解消できるよう、みなさんと協議しながら進めていきたい。

4) 魚津市まちづくりフォーラム 2027 について

(事務局から資料 4 に基づき説明)

- ・フォーラムについて、開催日時、基調講演の講師等について、事務局から説明した。
(一財) 自治研修協会の派遣事業を活用するため、同協会の共催のもとフォーラムを行う。

【質問・意見】

(地域振興会長)

- ・活動発表は例年どおり実施するのか。

(事務局)

- ・実施予定。秋頃開催の企画会議で詳しい内容を決めていきたい。

5) コミュニティセンターにおける学習スペースについて

(事務局から資料 5 に基づき説明)

- ・市民の方から、コミュニティセンターにおける学生の学習スペースの無料化（または減免）について要望があったところから、まずは現在の各コミュニティセンターの運用等について把握したく、定例系終了後、メールにて照会させていただく。

【質問・意見】

(地域振興会長)

- ・子どもたちに開放する場合、立ち合い管理者が必要なのではないか。安全面を考慮し、一定のルールが必要ではないか。

(地域振興会長)

- ・各コミュニティセンターの状況把握について、何を基準にするのか分からない。具体的に

示していただき、各コミュニティセンターに受け入れられるか確認してほしい。全体に照会するのではなく、各館個別に確認したかどうか。

(地域振興会長)

- ・スケジュール感は？

(事務局)

- ・今年度中に方向性を決め、来年度からスタートできれば良いと考えている。

6) 地域の担い手となる地域人材確保・発掘について (意見交換)

(会長から資料に基づき説明)

- ・次代を担うリーダーを育てる余力そのものが地域から失われてきたと感じており、本会が人材発掘の場、そして育成の場となるよう一歩ずつ進めていきたい。また、コミュニティセンター長の処遇、すなわち有償化について検討すべき時期にきている。本日の時点では、その方向性について皆さんと問題意識の共有をさせていただきたい。まずは、皆さんの地区の取組や意見を伺いたい。

(地域振興会長)

- ・地域に 20 代の 7~8 人の若者グループあり、年間 10 万円ほど活動費を渡して地域の活動等に関わってもらっている。これからは 40 代の方をいかに地域の活動に取り込むか、考えているところ。

(地域振興会長)

- ・会長が提案されたことは、とても大切なこと。みんな苦勞しており、難しい課題。

(地域振興会長)

- ・当館では昔から公民館プロジェクトというものがあり、各種行事の運営を行っている。メンバーは固定化していたが、最近若い学生が数名入り、非常に楽しく活動している。こちらから強制はせずに、色々な行事に楽しく参加していただいて、地域に貢献してもらえば良いと考えている。

(地域振興会長)

- ・会長の提案されたことは、当地域では特に対応を検討していないが、5 年先、10 年先、スピード感をもって話をしていきたい。新しい人材をどうやって取り込めるのか、なかなか手を挙げる方はいないので、それよりも活動をする中で、人材を探していきたい。そのためには、地域の活動も魅力なものにしていきたい。

(地域振興会長)

- ・農村 RMO 事業を活用し、地域内の 30 団体、50 人ぐらいに集まっていただき、農地の維持存続について、話し合っているところ。

(地域振興会長)

- ・当地域振興会は実行委員会制にしており、各自治会に協力員として入ってもらっている。

(地域振興会長)

- ・センター長は毎日出勤しているのか？報酬の適正金額も分からない。

(地域振興会長)

- ・サポーター制度を 3 年前から取り入れ、協力してもらっている。人材は一本釣りをして、

有償ボランティアとして事務職員のちょっとした手伝いをしてもらい、担い手の確保に努めている。

(地域振興会長)

- ・若い世代が多い地域で新興住宅地。まちづくり協議会で花壇を作っているが、若い方が声をかけてくれる。魅力的な活動をしていれば、寄ってきてくれる。運動会も1日開催から午前だけの開催とするなど工夫している。

(地域振興会長)

- ・そもそも収益事業がないので、報酬をもらうという発想がない。

(地域振興会長)

- ・蝶六踊り保存会のメンバーが、振興会の行事に参加していただいている。先月のマルシェ（敬老会同時開催）では、そのメンバーが中心となり、色々な企画をし、約千名の来場者があった。みんなで楽しいことを企画して、参加して、協力して、楽しもうよ、というのが良いと思っている。

(地域振興会長)

- ・いろいろな団体が弱体化している。青年団・婦人会もなく、町内会の力も弱っている。地域の担い手に集まってもらい話をする中で、顔見知りになり、少しでも興味をもってもらい、地域の行事に参加してもらう取組をしている。
- ・自分（センター長）は毎日、コミュニティセンターに顔を出して、職員とのつながりを持っている。センター長の処遇改善よりも、事務職員の中でリーダー的な人を作っていくのが必要ではないか。

(会長)

- ・皆さん、色々な意見をお持ちで、各地域で状況も違い、一概に何かできるものではない。今日の話をもとめて、また話をしていきたい。

5 その他

1) 令和8年度魚津市まちづくり交付金（上乘せ応援加算）交付状況

(事務局から資料6に基づき説明)

- ・交付状況を説明。予算に限りがあり、かつ採択順のため、申請希望地区に早めの相談を呼びかけた。

【質問・意見なし】

2) じゃんとこい魚津まつりについて

- ・全体の日程の説明とせり込み蝶六踊り街流しに参加できない2地域を確認。

【質問・意見なし】

3) 次回第3回役員会、第2回定例会日程について

今後、事務局から下記の時期で調整しく予定。

- ・第3回役員会 8月上旬
- ・第2回定例会 8月中下旬

(その他)

- ・ ●●地域振興会長から、資料に基づき、●●地域振興会・●●コミュニティセンターのホームページを開設された旨、報告された。開設のノウハウやホームページの特徴なども説明された。
- ・ ●●地域振興会長から、●●高校が開設する女子野球チームについて、地域での受入の可能性等の説明を行い、情報共有を図った。

5 閉会

閉会にあたり、会長が挨拶をされて終了した。(19：50)